

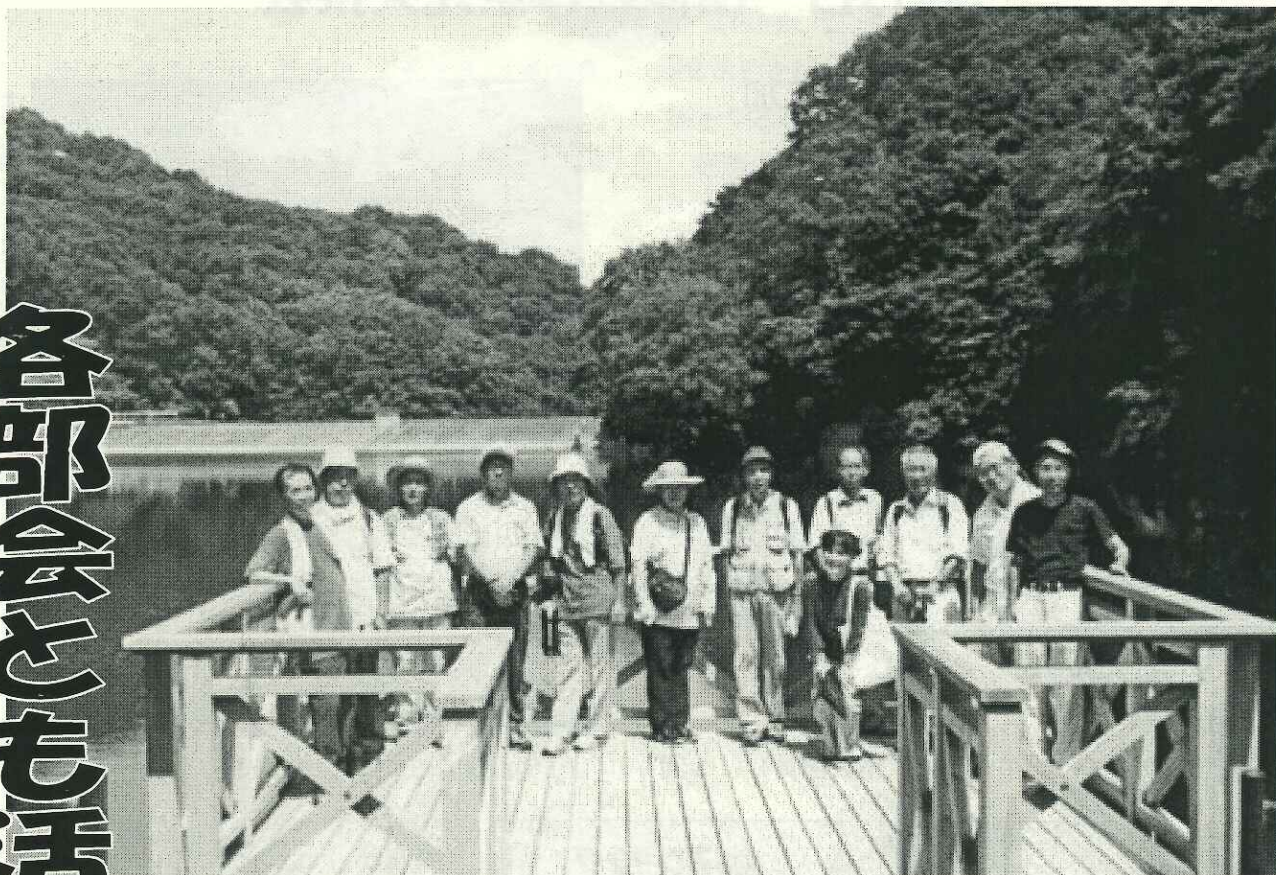
NO.3

平成16年  
(2004)

# 環境ひらかた

10月号

各部会とも活発に活動展開!



「天の川源流探索」に参加した自然環境部会メンバー

## 天の川源流を探索しました!

自然環境部会では、7月19日(月)、16人が参加してフィールドワーク「天の川源流探索」を行いました。

意外な事実に参加者一同驚くと同時に、現状に対して問題を感じた1日となりました(4面参照)。

### 目次

意見交換会の報告	-----2
エコフェアのお知らせ	-----3
各部会&運営委員会の活動	--- 4
特集部会紹介	-----6
お知らせ	-----7
事業者紹介	-----8



団体の活動状況や問題点、連携について話し合う

# 市民団体や事業者と課題を共有

9月13日 団体会員意見交換会

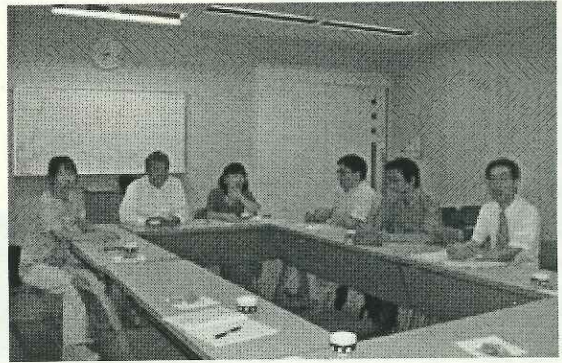
延べ 11 団体 16 人が参加

ネットワーク会議への要望も

市民団体や事業者などの団体会員との意見交換を行う「団体会員意見交換会」を9月13日にラポールひらかたと北大阪商工会議所で開催しました。

この意見交換会は、6月に開催した「親睦フォーラム」に続き、会員が自由に意見交換できる場を提供するために開催したものです。前回は主に個人会員向けであったのに対し、今回は団体会員を対象とし、各団体の活動状況や問題点、ネットワーク会議との連携などについて話し合うのが目的です。

意見交換会では、午前の部（市民団体）に3団



団体会員から多くの意見が寄せられた

体6人、午後の部（事業者）に6団体8人、夜の部（市民団体）に2団体2人が参加し、運営委員や事務局などと活発な意見交換を行いました（下欄参照）。

ネットワーク会議では、今回の「団体会員意見交換会」でいただいた団体会員の声を参考にし、今後の活動に生かしていきます。

## 参加者の声

- ◆ ネットワークに期待するもの、どのように活動していくかについて
  - ・帰着点の見えない活動には参加しづらい。ネットワークが既存団体に協力する、その趣旨を OPEN にしてくれるならば、既存団体もネットワークを利用しやすいのでは？（団体会員）
  - ・枚方にある既存団体と協働していきたい。どのようにかかわっていけるかを考えたい。活動をより OPEN にして、活動に参加してもらいやすくしていきたい。（運営委員） など
- ◆ 様々な意見集
  - ・我々が今、議論したことがどれほど実現するのか？ 枚方市でどれほど我々の意見を吸い上げてもらえるのか？ 例えば、ゴミを捨てる際に、個々人が責任を持てる社会を実現するために、記名して捨てることを提案しているが、なかなか実現の兆しが見えない。（中村電機）
  - ・ネットワーク会議は、表面的な話に終わらせず、実行に移したいのか？否か？これを見極めたい。（花村産業）
  - ・やはり、各部会でワーキンググループを作り、その中に役所の担当部署の人間が入って、煮詰めていく必要があるのでは？ 抽象論ではなく具体論で話を進めることが必要。（運営委員）
  - ・環境問題を改善するには、教育の部分にも手をつけていかねばならない。環境に悪くても安ければ購入する、こういう意識の改革を行う必要がある。
  - ・企業は、業績が安定しないとなかなか環境活動に手を出しにくい。 など



# 「ひらかたエコフェア2004」に参加します！

## みんなの力で盛り上げよう！

パネル展示などで活動をPR

### 新規会員加入にも期待

私たちを取り巻く社会は、大量生産、大量消費、大量廃棄の生活スタイルにより発展を遂げてきました。その結果、地球温暖化をはじめとする環境問題は地球規模の問題となっています。

現在の大量消費の生活スタイルを問い直し、市や事業者、市民の三者で今の生活を見直そうと始めた「ひらかたエコフェア」も、今年で7回目となりました。

ひらかた環境ネットワーク会議は、このエコフェアの趣旨に賛同し参加します。

具体的には、これまでの活動内容や各部会のPR活動を行います。当日は各部会活動のパネル展示やどんぐりゴマの工作教室を実施します。

詳細、各種募集については、エコフェアのホームページをご覧ください（下欄参照）。

環境問題の解決に向け、このエコフェアで一つでもできることをみつけ、行動につなげていただければと思います。ぜひ、会場にお越しください！

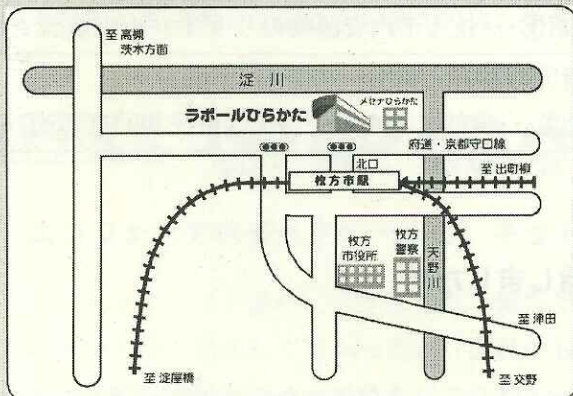
## 日時

2004年11月21日（日）

AM10:00～PM4:00（入場無料）

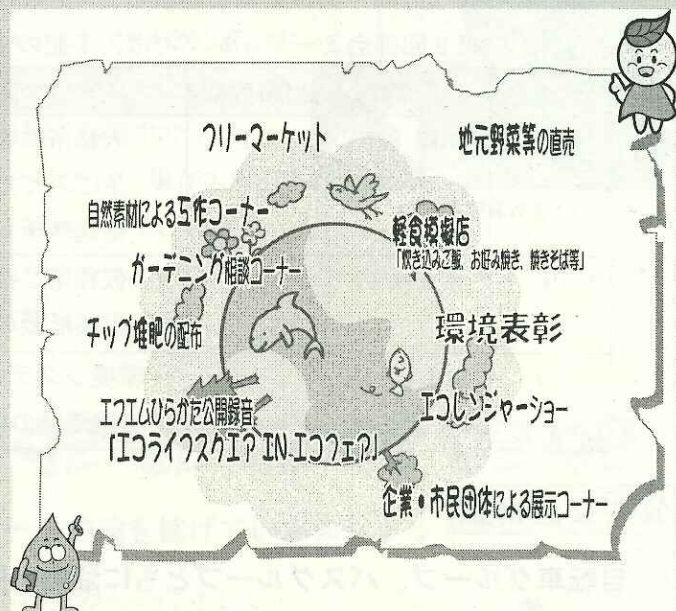
## 場所

ラポールひらかた（枚方市総合福祉会館）  
ネットワーク会議のスペースは 館内3F ロビー



## イベント紹介

※今年度のイベントの一部を紹介します。



URL: [www.hirakata.osaka.jp/freepage/gyousei/kankyuu/kansoumu/ecofair.htm](http://www.hirakata.osaka.jp/freepage/gyousei/kankyuu/kansoumu/ecofair.htm)

※ 上記URLは、枚方市のホームページ「環境総務課」のページと、ひらかた環境ネットワーク会議ホームページ「イベント情報」からも入れます。



## ●各部会の活動

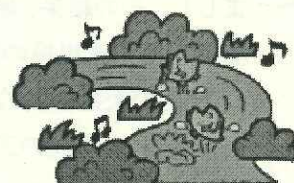
### 自然環境部会



#### 天の川の源流は阪奈道路だった！

5月の枚方市東部、穂谷地区のフィールドワークに続いて、7月19日、16人が参加して「天の川源流探索」を行いました。枚方市内から天の川の上流を見ると、源流はあたかも交野市の生駒山系辺りのように思えるのですが、実は磐船神社からさらに遡り、奈良県生駒市の一部をかすめ、大阪府四條畷市田原地区からさらに上流へ。突然目の前に出現する阪奈道路、そこから天の川は暗渠<sup>あんきよ</sup>となって消えているのです。それから先は探索不能。源流は“自然美残る岩間より流れ出る清流”を想像していた参加者一同はがっかり。それと同時に、人工護岸と廃棄物が散在している現状にも問題を感じたのでした。

現在11月に開かれる「エコフェア」に向け、自然環境部会としてどんな情報を発信できるのか、もっと多く参加していただけるためのアピールの方法など話し合っているところですが、そこで、このような天の川の実態や、東部地区の現状を市民の皆さんと共有化が出来ればいいなあ～と思っています。



### ごみ・エネルギー部会



#### 今年度は部会員の相互理解と情報の共有化を図り、実践活動を模索します！

平成16年度は部会員相互理解および情報共有化のために、個人・団体ですで行われている取り組み・活動の現状報告・紹介を行っていきます。同時にごみ及びエネルギー分野の現状・問題点を広く展望して、意見の集約および統一的方向・実践活動を模索していきます。

第8回および第9回部会ミーティングでは、下記のようなテーマで意見交換を行いました。

部会 NO	開催日	出席者数	テーマ
8	H16. 8. 6	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大都市における食問題・・・生ごみぐるぐる活動について</li> <li>・ 生ごみぐるぐる枚方の活動について</li> <li>・ 発砲スチロールのリサイクルについて</li> </ul>
9	H16. 9. 17	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮称第2清掃工場建設工事（プラント設備工事）について</li> <li>・ 実践活動の模索①・・・枚方市内資源物のリサイクル実態調査ほか</li> </ul>
10	H16. 10. 15 (予定)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境システム研究の紹介と部会への期待</li> <li>・ 実践活動の模索②・・・自然エネルギーによる市民共同発電所</li> </ul>

### 公共交通部会

#### 自転車グループ、バスグループともに活動を開始しました！

##### ■今後の予定■

##### <自転車グループ>

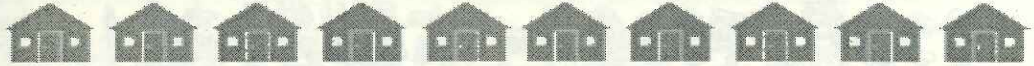
11月6・7日、山田池公園の緑化フェアで、自転車道整備の周知を目的とするイベントがあり、参加します。

##### <バスグループ>

バスロケーションシステムの検証と周知、関西外大前の混雑状況について10月頃現地検証を企画しています。バスロケーションシステムとは：携帯サイト <http://keihan.loca.jp/keihan/>で「あと何メートル」までバスが来ているかわかる仕組み。京阪バスの場合（枚方市駅～津田駅）の1路線のみ。（小さく）エコフェアでは、バスロケーションシステムの紹介、自転車道整備について、市内バスルート図展示などを行います。



まちづくり部会



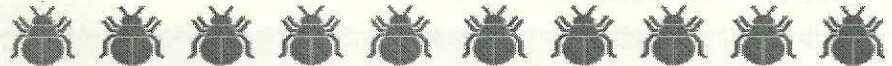
3つのワーキンググループが活動を開始しました！

まちづくり部会が発足して約半年、活動内容の具体化に向けた議論を経て、

- 安心・安全ワーキンググループ
- うるおい・緑ワーキンググループ
- 美化活動ワーキンググループ

の3つのグループが活動を開始しました。いまは、課題を把握するために、関係者から話を聴いたり、現地調査を行ったりしています。10月15日（金）18時30分から「枚方の安全を守ろう」と題した講演会（講師・枚方警察署生活安全課長）を開催します。（詳細はホームページ“イベント情報”をご覧ください）また、11月6日（土）の天の川大掃除にはまちづくり部会がまとめ役となりネットワーク会議として参加する予定です。

環境教育サポート部会



磯島高校版EMS（仮称）構築プロジェクトチームの参加者を募集します！

- システム研究WGでは9月4日ISO14000sの監査システムについて、服部静枝先生（京都精華大学）をお招きして学習会を開きました。
- 磯島高校では学校版EMS（環境マネジメントシステム）の構築に着手する予定であり、これに協働するプロジェクト・チームを立ち上げました。約半年後の運用開始をめざしています。現在、参加者募集中です。
- 小学生版環境教育副読本の検討プロジェクト・チームでは、現在大阪府内各市発行の副読本を収集中です。入手後は、本を読み合わせ、内容などを比較検討します。副読本を通じて子どもにどんなメッセージを伝えるのがよいのか、提案する予定です。小学生の環境教育に関心をお持ちの方、参加をお待ちしています。



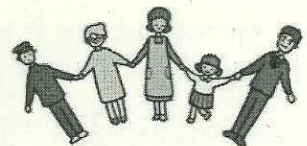
システム研究WG学習会の様子

運営委員会



エコフェアで存在をアピールし、ネットワークの輪を拡げていきましょう！

秋のエコフェアが近付いてきました。報告できるほどのものはさしてありませんが、発足して良かったと、会員はもとより市民の皆さんに思ってもらえる活動を次年度行うためにも、ここでしっかり存在をアピールしネットワークの輪を拡げていきましょう。しかし、どうやって？ が、なかなか難しいところで・・・ どんな企画にするか頭を悩ませています。（^.^）



それに加えて、次年度の活動計画を立てる時期に入ってきました。新たな活動としては、ネットワーク会議の役割である「枚方市環境基本計画の点検、評価、見直し」に取りかかる準備を始めます。これは、植田教授を囲んで、じっくりと腰を据えた取り組みとなる予定です。





# 3つの視点で3つのテーマに取り組みます！

環境への負荷の少ないバスや自転車が、もっと利用されるようにするにはどうすればよいのでしょうか。ドア・ツウ・ドアのマイカーに代わる交通手段をどう用意するか、徒歩・バス・自転車・鉄道を、距離別、目的別にどう組み合わせ整備すれば、マイカーに備わる利便性・快適性に近づけることができるかが大きな課題です。

3つの視点（市民のやれること・行政のやれること・事業者のやれること）で、3つのテーマ（交通全般・自転車・バス）に、取り組み、市民、行政、事業者それぞれの役割と連携方策について研究し、提言し、実現へ向けてコーディネートを行います。

### ■部会活動■

月1回の部会ミーティングかフィールドワークと、間に各グループのミーティングを行います。

### ■枚方市の公共交通の利用動向■

- ・平成7年から平成12年の動きをみると、枚方市では、人口は少し増加しているが、枚方市内の鉄道駅の乗降客は減少している。
- ・徒歩や公共交通（鉄道・バス）を利用して移動する人が少なくなり、マイカーを利用する人が増加しているとともに、社会情勢としても失業率が増加するなどの公共交通利用の減少要因が考えられる。
- ・市内居住の定期券所有者の鉄道までの端末交通手段をみても、徒歩やバスが減少し、一方、女性の自動車免許の保有率の増加により、駅まで車での送迎が増える傾向にある。

### ■バスの利用をもっと増やすにはどうするか？■

- ・人々の環境への意識に訴える。
- ・バスをより便利にするようにバス会社と共に考える。
- ・商店街で、買い物客にバス券を渡すなどのインセンティブ
- ・必要などころでは車を制限する。

などの方策を検討していきます。

### ■自転車で走りやすいまちづくりを！■

健康的で省エネルギーの自転車ですが、自転車の走れるところは、法的にも明確でなく、時には邪魔者扱いされたりします。自転車で走りやすいところのマップづくりや、自転車で走りやすくする改善提案などを行っています。写真は、穂谷川沿い自転車道のフィールドワークを行ったときのものです。



穂谷川沿い自転車道

### ■コラム：公共交通利用の教育的効果■

小学校に入学してくる子どもたちが、以前に比べウロウロ歩き回るなど好き勝手にし、1・2年生ですでに授業が成立しがたくなってきています。参観日にそこかしこでおしゃべりやビデオの撮影に夢中になる親の姿を見れば、さもあらんと納得できます。どうやら、わがまま勝手に許される私的空間意識をそのまま公共空間に持ち込んでいるようですね。しかし、社会にはルールがあり、人は「公共マナー」を身に付ける必要があります。

さて、どうすればよいのでしょうか。

「公共マナーを学ぶ」その機会を子どもたちに与えるのは、実は簡単なことなのです。マイカー利用を控え、公共交通を利用する。そうすれば、限界ある存在だということを実感し、さまざまな状況にある人に接する機会が生まれ、わがまま勝手は許されないという社会勉強ができます。

ドア to ドアの快適な暮らしから、ほんの少しシフトしてみませんか？



# イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーに掲載している募集の申し込みは事務局（枚方市役所環境総務課内）までご連絡ください。  
TEL 072・841・1221代

## “天の川大清掃”に参加しませんか！

美しい郷土「ひらかた」を次世代に残すため、一昨年から天の川再生実行委員会主催で行われている“天の川大清掃”に今回、ひらかた環境ネットワーク会議として参加することになりました。

天の川を4つに分けて清掃を実施します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：11月6日（土）

9時45分受付開始 10時開会

※雨天の場合は7日に延期

詳細は別添チラシを参照ください



（まとめ役：まちづくり部会）

## ロゴ募集

### ★ひらかた環境ネットワーク会議のロゴ募集

「ひらかた環境ネットワーク会議」のロゴを募集します！シンボルマークとして親しみやすいロゴを考えてください。（締め切り11月末まで）

※採用者には記念品を差し上げます。

## 会員を募集しています

### 一緒に枚方を住みよい街にしませんか

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。入会を希望される方は事務局へ、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。



## “地球交響曲～第五番～”を上映します！

（龍村 仁監督作品）

龍村仁監督がライフワークとして撮り続ける映画『地球交響曲』は、地球環境の美しさ、大切さを訴えるだけでなく、一人ひとりの「こころ」のあり方を問う素晴らしい映画です。今夏『第五番』が完成したのを受け、環境保全の輪を市内全域に広げるため、枚方市とネットワーク会議を含む枚方上映実行委員会が、今回の上映会を企画しました。皆様も是非一度ご覧になってみてください。

日時：12月2日（木）開場 18時 開演 18時半

会場：枚方市民会館大ホール

料金：前売り 1,000円 当日 1,200円 全席自由

（大人同伴小学生以下無料）

チケット販売：10月中旬～

枚方市役所環境総務課、各公民館等にて販売

問い合わせ先：事務局

## （まちづくり部会主催）

### “犯罪と環境を考える講演会”

枚方市内の犯罪概要や防犯の取り組みなどについて、警察の方からお話を伺います。是非ご参加ください。

講師：枚方警察署生活安全課長 都瑠康徳氏

日時：10月15日（金）午後6時30分～

会場：枚方市民会館 2階 第2集会室

## 「環境のへえ～」V.O. 2

### 『ディスポージャー（生ごみ粉碎機）の新システム』

ディスポージャーは台所の排水口部分に取り付けて砕いた生ごみを直接流すことができます。これまでのような単体での使用は下水を汚し、環境に大きな負荷を与えます。しかし、現在多くの自治体では、生ごみを微生物で分解処理する排水処理槽とディスポージャーを組み合わせた処理システムの利用を勧めています。生ごみを減らせて環境に良いシステムが急速に広まっています。

（日本コパック㈱HPより）

ただ、環境に対する意識の低下など、問題も出てきそうですね。皆さんはどう思われますか？



事業者の  
取り組み

## “有限会社 花村産業”

# 廃食用油や廃オイルの燃料化に取り組んでいます

当社は昭和44年設立の製缶業の鉄工所です。製缶業で培ったノウハウと外部の専門家と共同研究の成果を結びつけ、商品開発を行ってきました。

現在は、廃食用油リサイクル還元装置の研究を愛媛大学とともにしており、国内約10か所で実施試験の結果、廃食用油が軽油の代替燃料として使用可能となる実証を得られました。

従来のBDF(バイオ利用のディーゼル燃料)は、廃食用油に強アルカリを混ぜてグリセリンを分離し、強酸で中和水洗いした後、できた物を利用する方法でした。

また、製造装置の大型化や危険な薬品を使用するため、廃水処理や製造にコストもかかり、グリセリンと分離する際にきれいに分離できず、使用に難点がありました。

これに対し、本装置はゼロエミッション(埋め立て廃棄物ゼロ)を目標に、使用後は有機肥料としてリサイクルできる人工ゼオライト(火力発電所の石炭灰を利用)のイオン化による吸着効果と、網の目構造によるろ過効果により、廃食用油の酸

化・変質した部分を効率良く改質し、燃料化しています。

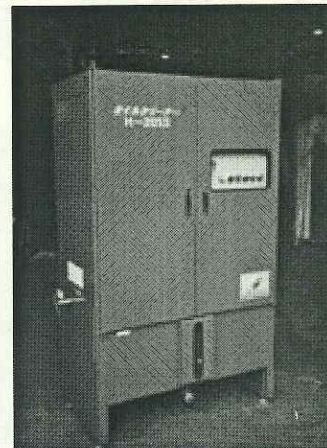
これまで使い道の少なかった自動車や油圧機械から出る廃オイルも、燃料化に取り組んでいます。

災害時や非常時のディーゼル発電機の燃料及びバイオマス発電の燃料に有効活用できます。

今後この装置を普及させるための課題として、市民レベルでの廃食用油回収協力がどれ位得られるかがキーポイントになると考えています。

ぜひ会員の皆様のご賛同とご協力を頂きたいです。

なお当社では、本年度大阪高専にて、バイオマス発電装置搭載のレスキューロボットの製作が実施され、その電源としても利用できるバイオマス発電機も現在製作中です。



オイルクリーナー

### 編集後記

コンビニエンスストアで買い物をすると、レジで「袋にお入れしましょうか?」と必ず聞かれます。つい「はい」と答えてしまい、お菓子1個、ジュース1本でも丁寧にレジ袋に入れてもらう私でした。しかしネットワーク会議に参加し、環境にやさしい生活を送っている多くの会員の話をうかがうにつれ、今まで何も考えずに「はい」とレジ袋を受け取っていた自分を恥ずかしく思うようになりました。今では「いりません」とはっきり断るようになってきました。ちょっとしたことですが、この小さな一歩を大切にしていきたいです。(鍛冶谷 記)

### ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第3号

平成16年10月1日発行(年4回発行)

発行: ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1-20  
枚方市役所環境総務課内

電話 072-841-1221(内線966)

FAX 072-841-3039

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者: 谷崎 利男

編集責任者: 鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

**R100**

古紙100%再生紙を使用しています  
05-5710-0001